

第2回及び第3回電磁波技術セミナーの開催について

令和4年8月4日
京都府中小企業技術センター
担当: 応用技術課
電話: 075-315-8634

現在、電磁波は通信や分析計測技術分野等での利活用がめざましく発展しており、今後の製品開発において重要な技術となっています。また、電磁波を利活用しない場合においてもEMC（電磁環境両立性）などの要求から、電磁波について理解を深めることが重要です。京都府中小企業技術センターでは、これら電磁波にかかる技術について、製品開発や研究を行っている企業を対象とした電磁波技術セミナーを開催しています。令和4年度の第2回セミナーでは、電波を使った超高層大気観測について、第3回セミナーではEMC（電磁環境両立性）における受動部品を使った効果的なノイズ対策について、以下のとおり開催します。

◇第2回電磁波技術セミナー

「電波を使った超高層大気観測 ～観測ロケットとGNSSを使った電離圏電子密度計測～」

【日時】 令和4年8月31日（水）14:30～16:30

【講師】 奈良工業高等専門学校 准教授 あしはら ゆうき 芦原 佑樹 氏

【内容】 電離層研究は無線の研究者・研究所を中心に古くから行われてきました。近年では、電離圏擾乱（ゆらぎ）がGNSS（全球測位衛星システム）の精度に影響を与えることが知られています。本講演では、最新の電離圏電子密度測定法を中心に、電波を使った超高層大気観測について紹介します。

◇第3回電磁波技術セミナー

「EMC対策 ～受動部品を使った効果的なノイズ対策～」

【日時】 令和4年9月9日（金）13:30～16:00

【講師】 ウルト・エレクトロニクス・ジャパン株式会社 ひろた だいすけ 廣田 大輔 氏

【内容】 EMCに不可欠における受動部品を使ったノイズ対策について、基礎理論から実践まで丁寧に説明します。特にノイズ対策として用いる受動部品とインピーダンスの関係に着目し、効果的なノイズ対策の考え方について、実演を交えて身に付けていただきます。

◇対象：主に電気・電子製品や電磁波技術の研究・開発に携わる方

◇会場：オンライン 及び 京都府産業支援センター 5階研修室
(京都市下京区中堂寺南町134 京都リサーチパーク東地区)

◇受講料：無料

◇主催：京都府中小企業技術センター、公益財団法人 京都技術科学センター

◇申込・問合せ先：京都府中小企業技術センター 応用技術課 電気通信係
(TEL: 075-315-8634 E-mail: denki@kptc.jp)

